

(単元)太平洋戦争

(本時のねらい)

太平洋戦争の過程に着目しながら、戦時下の国民生活について考察する。地域に残る史資料を用いることで、当時の国民生活についてより具体的に歴史事象を考察したり、歴史事象同士の因果関係を自分なりに説明するなどの思考力・判断力・表現力を身につけてほしい。また、電子黒板を活用して、相互に発表したり説明したりして、他者の考えを共有するとともに、他者との意見交換を通して考えの深化を図る。

(ICT活用方法)

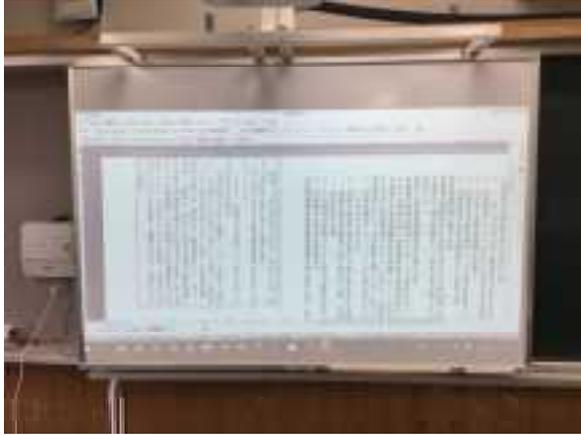
資料を電子黒板に投影することで、生徒たちの視点を上げ他者の考えや意見をしっかりと聞く姿勢・態度を養っていく。また電子ペンを使用することで、どの箇所に着目しどのような歴史的解釈が成り立つのかを全体に説明することが容易となる。授業のまとめでは自分の考えを電子黒板に投影し、視覚的にもより分かりやすく自分の考えを表現することができる。

(本時の展開)

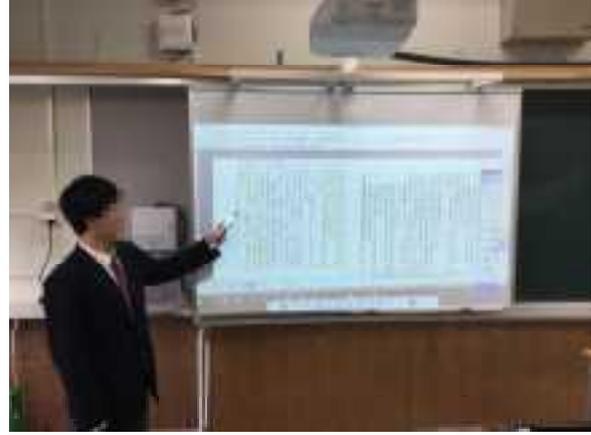
時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	本時の目標を知る		本時の目標を映す	
展開 35分	資料から読み取れる戦時下の国民生活について考察する【個人→グループ】	個人で考えたあと、グループで考えをまとめる	資料を映し出す	
	資料から読み取れる戦時下の国民生活についてグループごとに発表する	グループごとに発表させる	電子ペンを使用し、資料のどの箇所に着目したかを明示する	
まとめ	本時のまとめ	ワークシート	ワークシートのまとめを映し出	

10分	をする	へ記述させる	し、各グループの考えを共有する
-----	-----	--------	-----------------

(授業の様子)



資料を投影



電子ペンで資料の着目した箇所をチェック



まとめを電子黒板で投影しながら発表

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

前方の電子黒板に資料を映し出すことで、生徒の視点が上がり他者の考えを聞く姿勢・態度をつくりだすことができた。資料の文字が小さく、大人数の授業では投影の仕方を工夫したり、手元に紙媒体の資料を用意するなどの配慮が必要である。また、ワークシートの記述を写真に撮り投影したが、画面がやや暗く文字が判別しにくいところも見られた。